

# 第1学年 英語科 学習指導案

日 時 2025 年 11 月 25 日 (火)  
第 1 校時 8:45～9:35  
対 象 第 1 学 年 B 組 31 名  
会 場 1 年 B 組 教 室

## 1 単元名

Lesson 6 School Life in the U.S.A. …… 「NEW CROWN」(三省堂)

## 2 単元の目標

- ・ 堺中学校の生活について紹介する英文を書き、発表することができる。
- ・ 絵や写真について現在進行形を用いて表現することができる。

## 3 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
①〈知識〉現在進行形の意味・形・用法を理解している。	①アメリカの学校生活についての説明を聞いて、おおまかな内容を捉え、堺中学校の紹介文をグループで作成し、発表している。	①アメリカの学校生活についての説明を聞いて、おおまかな内容を捉え、堺中学校の紹介文をグループで協力して作成しようとしている。
②〈技能〉現在進行形についての理解をもとに、アメリカの学校生活についての説明を聞き取ったり、堺中学校について説明したりする技能を身につけている。	②目的や場面に応じて、現在進行形を正しく使い、表現している。	②目的や場面に応じて、現在進行形を正しく使い、表現しようとしている。

## 4 単元指導計画(全10時間扱い)

時	目標	学習内容 ・ 学習活動	評 価
1	ストーリーのおおまかな内容をつかむことができる。	映像を見て、ストーリーのおおまかな内容を理解する。	ウー①【観察】
2	現在進行形の形・意味・用法を理解することができる。	個人、ペア、グループで現在進行形を用いてイラストや写真の説明をする。	アー①【観察、ワークブック】
3	本文の内容を捉え、文脈の中で現在進行形の意味・形・用法を理解することができる。	・アメリカの学校生活について理解する。 ・語句や表現、現在進行形の意味・形・使い方を確かめる。 ・本文の音読を通して、英語らしい発音やイントネーションで表現できるようにさせる。	アー①②【観察、ワークブック】

4	現在進行形の疑問文・否定文の意味・形・用法について理解することができる。	個人、ペア、グループで現在進行形の疑問文や否定文を使って今していることやしていないことを説明する。	アー①②【観察、ワークブック】
5	本文の内容を捉え、文脈の中で現在進行形の疑問文・否定文の意味・形・用法を理解することができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アメリカの学校生活について理解する。</li> <li>・語句や表現、現在進行形の意味・形・使い方を確かめる。</li> <li>・本文の音読を通して、英語らしい発音やイントネーションで表現できるようにさせる。</li> </ul>	アー①②【観察、ワークブック】
6	Which 疑問文の意味・形・使い方を理解することができる。	ペアで自分たちの好みの食べ物について会話する。	アー①②【観察、ワークブック】
7	学校生活について既習の語句や表現を用いて即興で話すことができる。	相手が話した内容について共感したり、感じたことや考えたことを伝えたりする。	イー①【パフォーマンス】
8	アメリカの学校生活についての紹介メールを理解し、堺中学校の紹介内容を考えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活の紹介の方法について理解する。</li> <li>・グループで堺中学校の紹介内容について決定する。</li> </ul>	ウー①②【観察、ワークブック】
9	堺中学校の紹介メールを作成することができる。	海外の生徒に向けてわかりやすくまとめられてあるか考えながら、グループで学校生活や行事についての写真を描写し、詳しい説明を付け加えて、まとまりのある文を書き、発表の準備をする。	ウー①②【観察、ワークブック】
10 本時	堺中学校の紹介メールの内容を発表することができる。	グループで学校生活や行事についてのプレゼンテーションをする。	ウー①②【観察、ワークブック】

## 5 生徒が主体的に学び続けるための工夫（協働的な学び）





- ・ペアやグループで考える・話し合う時間を設定することでお互いの意見を尊重する雰囲気を作る。
- ・発表の場を設定することで、互いの良さを認め合い、学びあう雰囲気を高める。

## 6 本時の指導（全 10 時間中の 10 時間目）

### （1）本時の目標

- ・ 堺中学校の紹介メールの内容を発表することができる。

### （2）本時の展開

	○学習活動 ◎主体的に学び続けるための視点	□指導上の留意点 ◆評価
導入 5分	○帯活動 ・ What Am I?クイズ 	□生徒が出したヒントを代名詞を変えて繰り返すことで、代名詞の使い方の復習ができるよう配慮する。
展開 35分	◎プレゼンテーション ・ 堺中学校の紹介メールをグループごとに発表する。  ・ 発表後、ALT からの質問にグループで協力して答える。 ◎ 3～4 人グループで行う。 ・ それぞれの発表を聞いた後、ALT からの質問に答えるために、グループごとの発表のメモをとる。	□発表側の生徒が ALT からの質問の理解が難しい場合は、聞き手側で理解している生徒に説明してもらうよう声をかける。 ◆ウー①②【観察、ワークブック】
まとめ 5分	○本時の振り返りを行う。 ○発表を振り返ってわかりやすく発表していたグループを選ぶ。	□ALT から発表のフィードバックをもらい、フォームの結果を全体で共有する。